

第39回 自然史情報発信に関する研究会

－新しくなったS-Netシステムの紹介
とデータベース連携－

2022年6月25日（土）
13時30分～15時30分

本日はご参加いただきありがとうございます。
開始までいましばらくお待ちください。

- 周囲の音が邪魔になる可能性がある場合は、ヘッドセット/マイクを使用してください。
- 画面の下にマウスを動かすと、下のタスクバーが表示されます。タスクバーの[ミュート]および[ビデオの停止]をクリックし、マイクをミュートに、カメラをオフにすることができます。
- 可能であれば、自分の名前を正しくご表示ください。下部のタスクバーで[参加者]をクリックして[参加者]ペインを開き、参加者名の右側をクリックし、[名前の変更]を選択して名前を修正します。
- 本会合は事務局側で録画をします。参加者側での録音・録画はご遠慮ください。公開の方法等については後日決定し、改めてご連絡いたします。
- 質問は[チャット]で提示することができます。「送信先」から「全員」を選び、「ここにメッセージを入力します・・・」に入力して送信してください。質疑応答はすべての講演が終わったところで、まとめて行います。
- インターネット接続が最適でない場合は、カメラの電源を切る、Zoomの再起動、PCの再起動を試みてください。これにより、Zoom 接続が改善される可能性があります。



S-Net → 画面左下「▶サイトマップ」→活動実績・資料→自然史標本データ研究会

サイエンスミュージアム ネット
Science Museum Net S-Net

ホーム

サイトマップ

見出しをクリックすると該当ページを表示できます。

サイエンスミュージアムネットを使う

- トップページ (日本語)
- トップページ (英語)
- 参加機関・データセット一覧 (日本語)
- 参加機関・データセット一覧 (英語)
- 関連ポータル

参加機関・参加検討中の機関の方へ

- はじめに
- S-Net/GBIFへのデータ提供
 - はじめようS-Net
- 新S-Netシステムについて
 - 新S-Netの主な変更点
 - 機関を指定してS-Netへリンクする方法
 - 新データ変換ツール
- ツール・辞書
 - データ変換ツール
 - データ事前整形支援ツール
 - 自然史研究のための地名辞書

自然史標本データ研究会 (S-Net研究会)

生物多様性情報を利活用するための事例研究・実習の資料です。

第39回
2022年6月25日
オンライン

新しくなったS-Netシステムの紹介とデータベース連携 [室内](#)

- イントロダクション (国立科学博物館 神保 宇嗣)
- 第5期NBRPにおけるJBIFおよびS-Netの活動方針 (国立科学博物館 神保 宇嗣)
- 新S-Netシステムの紹介とデータ提出時の注意事項 (国立科学博物館 神保 宇嗣・水沼 登志恵)
- 遺伝子データの世界から博物館データの世界へアクセスする (東海大学 松前ひろみ)
- 大学学術資料の公開と活用：領域を横断して資料を活用してもらうには (東京農工大学 齊藤有里加)

過去のお知らせ

使い方・資料・活動実績

- ・利用者マニュアル
- ・パンフレット
- ・S-Netの使い方～使ってみようS-Net
- ・S-Net/GBIFデータ活用事例
- ・**自然史標本データ研究会**
- ・その他の活動

<https://science-net.kahaku.go.jp/app/page/activity.html>